

# 令和4年度事業報告

はじめに

令和4年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が色濃く、行事や活動については、ワクチン接種の浸透や感染者数の動向を観察しながら慎重に判断して、実施可能な規模内容で実行いたしました。とりわけ、創立60周年を冠した「大運動会」「学園祭」等の実行は、喜ばしい出来事でした。令和4年度「入学式」並びに「卒業証書・修了証書授与式」は、前年度と同様に新入生、保護者と教職員のみのお出席で来賓なしの式で実施いたしました。

この度、本年5月8日より新型コロナウイルスは5類感染症（定点把握）となり、規制が緩和されていますが、強い感染力を持った感染症であることに変わりはなく、本校では文科省からの通知等を参考にし適宜対応を行って参りますが、収束の方向に向かうことを願っております。

## I. 事業実施概要

本学園は、教育基本法・学校教育法並びに私立学校法に基づき、「寄付行為」で知的障害女子に学校教育を行うことを目的に「いずみ高等支援学校」の設置運営を位置付け、これまで継承し歩んできました。

令和4年度は、学校創立60周年の節目を迎えて「記念式典」の挙行や「記念誌」の発行及び各種記念行事を実行しました。いずれも次世代、未来へ繋がる「良き伝統と歴史」を推進する機会となりました。

理事長（本法人責任者）として、学校及び寄宿舎の充実発展の為、国会・文部科学省始め所管の宮城県そして仙台市等を継続訪問し要望活動を行い理解を仰ぐことに努めました。その一つの成果として、私立特別支援学校連合会の方たちとの文科省への要望活動等によって、寄宿舎運営費に対する国庫補助金交付が決定されました。この事より、更なる寄宿舎経営の安定及び保護者負担の軽減を図る事が可能となりました。今後、宮城県から同額の交付を目指す要望活動を強力に進めます。

私立特別支援学校として全国唯一で、女子のみ的高等部（本科・専攻科）単置であり、家庭科を中心とした編成の教育課程で、領域・教科を合わせた指導「学習即生活・生活即学習」を目指した実践を継続して行っております。

更には、学校教育法第78条に基づき、創立当初から寄宿舎付設で広域的受入れも可能として、学校・寮連携による24時間体制のもと、集団生活を通して自立心と生活力をより高める指導を実践しながら、これらを特色として位置付けて社会全体・保護者の付託に応え理解を得ながら、進めております。

経営全般についての基礎となる生徒数は、97名（前年比8名の増）となり3年振りに定員を超えました。以降、年度内の増減はありませんでした。

収入の大きなウェイトを占める、運営費の特別支援教育教育費補助金については、生徒一人当の単価は1,562,338円であり、国・宮城県とも定員数（96名）上限で、実員数97名（令和4年5月1日現在）の内96名を基礎とする算定で各々交付を受けました。国庫分の中には、既述の寄宿舎運営費分（15,687千円）が含まれています。国庫分と宮城県費分合算の算定交付実績額は、315,655千円あります。

学生生徒納付金関係単価は、各々据え置きで生徒員数97名の納付金総額は25,272千円でした。

なお、生徒保護者に対する支援として、補助金等の交付・支給は下記表のとおりです。

令和4年度 補助金等	金額
就学奨励費（生活支援金）	8,152,585 円
就学支援金（本科 授業料支援金）	8,171,100 円
就学支援金（本科上乘せ 授業料補助金）	61,200 円
専攻科支援金（専攻科 授業料補助金）	1,305,000 円
入学金軽減（本科1年 補助金）	400,000 円
合計	18,089,885 円

教職員は、当初、学校と寮を合わせて本務教員23名、非常勤講師7名、本務職員10名、非常勤職員14名の総勢54名でスタートしました。年度途中で本務、非常勤合わせて6名の採用があり、年度末には家庭の事情等により、本務2名の退職がありました。

学校経営は、これまでと同様に令和4年度経営案に基づき「学校運営計画」により学校教育・学年目標を設定し、これに基づく一貫性のある教育課程の編成で取り組み、毎月定例の運営委員会に諮り職員会議をもって協議を行い、全学共有しながら周知徹底を図り進めてきました。学校行事・学習指導や生徒指導及び進路指導等計画とおりに取り組み、当年度も支障なく、ほぼ事業計画のとおり実行しました。特に、進路指導の充実を図ることを重要事項と位置付けて、進路先開拓や相談・アフターケア等を優先することでタイムリーな活動を推進し、実績を上げているところです。

引続き生徒等の生命と安全を優先して、学校環境の整え安全安心を確立するために不審者防止・防災危機管理に向け、学校・寮の指導体制・訓練や環境整備の一層の充実を目指して実施して参りました。

令和4年度に於いて、建物・構築物関係での増設はありませんでしたが、防災・防犯・利便性・居住性等の観点より、継続した対応を行っています。

働き方改革について、引き続きコロナ禍の中での業務増が残業発生を助長する悪循環が目立つようになりました。職務内容や担当者の組み合わせを見直して時間管理を改善していく必要があります。重複した作業を無くし、時間外勤務の削減等のトップダウンの指示が求められている状況と考えています。教員を目指す人数の減少は、各学校間での人材獲得競争に繋がっています。標準化できる仕事の確立等を進めて教職員にとって安定した働き易い職場作りを推進することにより、健康管理及び大事な生徒と教育現場を充実する態勢を整える所存です。

人件費について、昨年度同様に本務者については、現行給料表に基づいて1号俸特別昇給と定時昇給の完全実施及び期末手当年間4.8箇月分支給を行いました。非常勤者には、単価引き上げと期末手当年間2.3箇月分支給の実績となりました。常に献身的に生徒に寄り添い、取り組む教職員の勤務姿勢に応え更なる士気高揚に効果がありました。

以上が令和4年度の主な事業概要実績の報告であります。

## II. 法人の活動状況

### 1 会議等の概要

#### (1) 理事会…定数6名

開催月日	開催場所	出席	委任状	欠席	主たる議事内容結果
4.5.27	学校図書室	5	1	0	1. 令和3年度事業並びに学校会計収支決算について（報告） 2. 監査報告  <原案のとおり承認>
5.3.20	学校図書室	5	1	0	1. 職員の給与について 2. 本校舎建て替え建築資金について 3. 令和5年度事業計画（案）並びに会計収支予算（案）について 4. 法人役員並びに評議員の任期満了に伴う選任について <原案のとおり承認>

#### (2) 評議員会…定数13名

開催月日	開催場所	出席	委任状	欠席	主たる議事内容結果
4.5.27	多目的学習棟	11	2	0	1. 令和3年度事業並びに学校会計収支決算について（報告） <原案のとおり承認>
5.3.20	多目的学習棟	12	1	0	1. 職員の給与について 2. 本校舎建て替え建築資金について 3. 令和5年度事業計画（案）並びに会計収支予算（案）について 4. 法人役員並びに評議員の任期満了に伴う選任について <原案のとおり承認>

(3) 監事監査等…定数2名

開催月日	開催場所	出席	主たる議事内容結果
4.5.17	学校図書室	2	1. 令和3年度学校法人業務等に係る監査の実施 <監査報告書提出>
4.5.27	学校図書室	1	【理事会陪席】 1. 令和3年度事業並びに学校会計収支決算について（報告） 2. 監査報告
5.3.20	学校図書室	1	【理事会陪席】 1. 職員の給与について 2. 本校舎建て替え建築資金について 3. 令和5年度事業計画（案）並びに会計収支予算（案）について 4. 法人役員並びに評議員の任期満了に伴う選任について

2 学校法人に関する報告書等の提出 【宮城県】

事項	報告認可月日	主たる報告書等内容
教員異動報告書	令和4年4月19日	採用2名 解職2名
登記完了報告書	令和4年6月2日	資産総額の変更について（R4.5.27付）

3 「いずみ高等支援学校」生徒数（令和4年度末）

課程年 通学別	本 科				専 攻 科			合 計
	1年	2年	3年	小計	1年	2年	小計	
寮 生	10	2	6	18	4	2	6	24
通学生	17	16	14	47	15	11	26	73
合 計	27	18	20	65	19	13	32	97
定 員	65				32			97

4 職員構成（令和4年度末）

	校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	（ 助 手 含 ） 講 師	寄 宿 舎 指 導 員	栄 養 士	調 理 員	事 務	業 務 員	計	合 計
本 務	1	1	17	1	4	8	1		3		36	58
非常勤					8	5		8		1	22	